



慶應義塾大学ビジネス・スクール

新型コロナウイルス：日本における PCR 検査

5

2019年11月に中国・武漢市で、後に COVID-19^[1] と呼ばれる新型コロナウイルス（以下、新型コロナウイルス）の感染症例が見つかり、2019年12月末に WHO（世界保健機関）へ報告された^[2]。その後、アジア、ヨーロッパ、アメリカ各地で感染のアウトブレイク（outbreak、集団感染）が発生し、全世界的な感染者の増加をもたらした（地域別の日々の新規確定感染者数の推移は図表1参照^[3]）。2020年3月11日には、WHO はパンデミック（pandemic、世界的な大流行）に相当する、との見解を表明した。

10

ジョンズ・ホプキンス（Johns Hopkins）大学がまとめた統計によれば、2020年6月中旬には、全世界の累計で新型コロナウイルスの確定感染者数は800万人、死者数は40万人を超えた^[4]。図表2は5月末時点での確定感染者数と死亡者数（それぞれ10万人あたり）を表している。国によって定義の違いやデータ収集上の混乱があるため、厳密な比較は困難であるが、欧米諸国で高い数値を示していることがわかる。

15

日本においては、3月中旬までは、確定感染者数が少なかったが、3月下旬から大幅に増加した（図表3参照）。日本では、4月に始まる年度の関係で2月後半から3月は夏場に次ぐ海外旅行シーズンであり^[5]、ちょうどその時期に感染が拡大したヨーロッパを訪問した日本人が多かった。そして、帰国後に感染が確認されただけでなく周囲に感染を拡大させた例が数多く報告された。

20

ただ、日本は他の先進国に比べ、新型コロナに感染したかどうかを確定する PCR 検査数が少なかった（図表4参照^[6]）。PCR 検査数が少なければ、感染の実態把握ならびに感染者の隔離による感

[1] COVID-19 は、coronavirus disease 2019（2019年に発生したコロナウイルス感染症）を略した言葉。

[2] WHO HP (https://www.who.int/docs/default-source/coronaviruse/situation-reports/20200121-sitrep-1-2019-ncov.pdf?sfvrsn=20a99c10_4) 【2020年5月アクセス】WHO への報告では、病因不明の肺炎（“cases of pneumonia unknown etiology”）とされた。

25

[3] WHO HP (<https://covid19.who.int/>) 【2020年5月アクセス】ただ、実際の感染者数ではないことに留意する必要がある。

[4] CSSE at Johns & Hopkins University (<https://coronavirus.jhu.edu/map.html>) 【2020年6月アクセス】

[5] 法務省「出国管理統計」

[6] 新型コロナウイルス感染症対策専門家会議「新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言（2020/5/4）」(<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000627559.pdf>) 【2020年5月アクセス】

本ケースは、クラス討議のための資料としてまとめられたものであり、経営管理に関する適切あるいは不適切な処理を示すことを意図したものではない。本ケースは慶應義塾大学大学院経営管理研究科教授 中村洋が公表資料をもとに作成した。本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクール（〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉4丁目1番1号、電話 045-564-2444、e-mail: case@kbs.keio.ac.jp）。また、注文は <http://www.kbs.keio.ac.jp/> へ。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法（電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない）による伝送も、これを禁ずる。

30

Copyright © 中村 洋（2020年6月作成）